

《行政視察先と内容》
 千葉県流山市
 ファンリテイマネジメント
 岐阜県大垣市
 大垣ビジネスサポートセンター
 「Gaki-Biz」
 愛知県西尾市
 抹茶スイーツ選手権・茶業振興施策
 静岡県富士市
 富士市産業支援センター「f-Biz」



茶産地の地域ブランドを学ぶ

●茶業振興施策について
 西尾市の抹茶の歴史は古く、明治5年、寺の住職が宇治から茶種と製茶技術を導入したことで、栽培が盛んになり、大正後期にてん茶の栽培・製造が主となって今日に至る。平成29年の生産者数は150人、生産量は433トンと誇っている。

●さらなる茶業振興に向けて
 今回の視察で得たさまざまな成果を茶業の発展、振興に活かせるよう、委員会活動をします。

総務経済委員会では、5月17日に流山市に、10月10日、12日に、大垣市、西尾市、富士市を視察しました。ここでは、西尾市の視察内容を報告します。

特産の狭山茶の市場価値を高め
 販路拡大を目指して

総務経済委員会

茶産地として地域ブランド(地域団体商標登録制度)を取得、「西尾の抹茶」の付加価値を高める。抹茶を輸出拡大すべく地理的表示保護制度「GI」登録。小中学生に協力してもらおう茶摘み作業など、さまざまな取り組みをしている。

●抹茶スイーツ選手権について
 高校生パティシエに早い段階で西尾の抹茶に親しんでもらうことで、パティシエになった将来、使ってもらえることを狙って開催。審査委員長は西尾の抹茶大使であり、名古屋の有名なパティシエでもある。第1回が平成26年に開催され、愛知・岐阜・三重・静岡の東海4県の91チームが参加。その後、対象区域を広げたが、今年の第5回は東海4県と京都府を対象に、コンビニとのコラボで開催。優秀作品は一部エリアで販売予定である。

◆地域新事業創出基盤施設(さやまインキュベーションセンター21)の指定管理者の指定
 Q 選定方法を特命から公募に見直した理由は。
 A 民間の経営ノウハウをより一層活用して、起業家などへの支援の充実を図るために見直した。

機械導入、また、抹茶用茶葉の安定生産を図るための被覆資材などの導入に対して交付されるものである。
 Q ふれあい健康センター管理事業費の中で、今回行われる劣化状況調査はどのような内容の調査か。
 A 目視による建物設備の現況調査、X線や管内カメラ、超音波による配管内の調査、外壁のコンクリート強度の調査などを予定している。

◆一般会計補正予算(第3号)
 Q 親元同居・近居支援事業費の現在の執行状況は。
 A 10月末現在で28件、1千205万6千円であり、これに伴い97名の転入があった。

Q 茶・地域特産物振興総合対策事業費補助金が交付された事業は。
 A 県の単独補助事業であり、生活環境による降霜害を防ぐための防霜ファンの導入や、高品質化、省力化による生産性の向上のための

Q 新たな武道館の概要では単館であるが、複合化についての見解は。
 A 新たな武道館の整備に関する基本方針は平成27年3月に策定をした。その検討では、解体された旧武道館の機能を新たな施設として復活させ、武道の振興と武道教育の拠点の確保を図るとの視点に立って行ったものであり、その時点では複合化については検討を行わなかった。

採決の結果

平成30年第4回定例会では、市長提出議案12議案を審議し、採決の結果、すべて可決・承認しました。

◆賛否が分かれた議案 ○…賛成、×…反対、退…退席、討…討論者、議長は採決には参加しません

議案番号	議案名	創政会					公明党			創造			日本共産党		新政みらい		はつらつ狭山		無所属				
		千葉	笹本	三浦	田村	新良	綿貫	加賀谷	齋藤	磯野	西塚	金子	矢馳	町田	望月	大沢	猪股	土方	内藤	中村	大島	太田	高橋
103	狭山市立祇園保育所の指定管理者の指定について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
104	狭山市立狭山台児童館及び狭山市立広瀬児童館の指定管理者の指定について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
106	狭山市ふれあい健康センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	議	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
107	狭山市商工会館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×
108	狭山市地域新事業創出基盤施設の指定管理者の指定について	○	○	○	○		○	○	○	退	退	退	退	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×
109	平成30年度狭山市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×

◆全員が賛成した議案
 条例の制定 狭山市協働によるまちづくり条例 補正予算一般会計(第4号) その他 狭山市市民健康文化センターの指定管理者の指定について、狭山市社会福祉会館の指定管理者の指定について、狭山市立老人福祉センターの指定管理者の指定について 承認 専決処分の承認(和解)

健康で生きがいを持つ
 共生のまちづくりを

文教厚生委員会

文教厚生委員会では、10月9・10日に、健康づくりや小学校の複合化施設などを視察するため、見附市と十日町市を訪問しました。

●スマートウェルネスみつけ
 体の健康だけではなく、人々が生きがいを感じ、安心して豊かな生活を送れる状態を「健康〓ウェルネス」と呼び、これをまちづくりの中核に据えた各種事業に取り組んでいる。

健康運動教室の実施により、体力年齢の約15歳の若返りと年間一人当たりの医療費の約10万円の抑制を実現し、全国・県平均よりも低い介護認定率を維持、小中学生の血圧・血中脂質・肥満度の検査を実施するなど、これまでの取り組みが着実に成果を上げている。

●複合化施設・十日町小学校
 共生社会の実現をめざす福祉のまちとして、総合的な子育て支援事業を可能とする教育福祉複合施設の整備は急務の課題であったことから、老朽化した十日町小学校

《行政視察先と内容》
 新潟県見附市
 スマートウェルネスみつけ
 新潟県十日町市
 複合化施設・十日町小学校



共に学び育ち合う教育福祉複合施設

の改築と、学校内に設置の県立特別支援学校分校を市立に移管して一体的に整備することが、福祉のまちとしての方向性と合致したため実現できたもの。
 素晴らしい施設の中で、通常の児童と障がいのある児童が共に生活しており、連続性のある「多様な学びの場」が実感できました。

●視察を終えて
 狭山市でも、健康づくりや公共施設の複合化など、さまざまな視点で考えていく必要性を再確認しました。地域住民を取り巻く環境の整備は大変重要であるため、引き続き調査・研究に取り組み、提言・要望につなげていきます。